

## 事例9 担い手を中心となり急傾斜水田で転作大豆5haの団地化に取り組む

岩木町 杉山

協定面積 田5ha 協定参加者 9人

- 杉山集落の対象農地は岩木山麓にある急傾斜の水田5haとなっており、生産調整は100%調整水田で対応してきました。
- 平成13年度に中山間地域等直接支払制度に取り組んだことを契機に、担い手を中心に集落での話し合いを重ね、これまでの調整水田に代えて5haの大豆団地づくりに取り組みました。
- 交付金は100%共同活動に充て、機械で行う耕起・は種、刈取り、乾燥・調製の委託費と、薬剤散布機のリース料に使用しています。大豆の単収は180kg/10aで、この販売代金は所得の増加に大きく役立っています。
- さらに、交付金は水路の泥上げ、農道の草刈り、敷き砂利などにも使用しています。

今後は交付金を認定農業者育成のための研修費用などにも充てていきます。



大豆の防除作業